

米子市立山陰歴史館

平成 28 年度事業報告

平成 29 年度事業計画(案)

平成 29 年 (2017) 3 月

平成28年度事業報告

2月末現在

事業名		開催日	入館者数(人)	内 容		
鑑賞事業	常設展	米子城、米子の農家の昔のくらし、昭和の小学校、昔の道具、子どもの遊びふるさとに伝わる民俗行事ほか	通年	4,891	米子の古代から現代までの通史を展示する。各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子や産業など、人々の息吹を感じていただく機会を提供した。	
	企画展	石に刻まれた祈り ～廻国塔を中心に～	4/23(土) ～ 6/26(日)	574	鳥取県西部の廻国など石碑資料を写真パネルや拓本でご覧いただき、石碑資料に興味や関心をもっていただく機会を提供した。	
		祝日本遺産認定！ 大山の歴史を語る資料たち -米子市立山陰歴史館館蔵品紹介-	4/29(金) ～ 6/26(日)	888	日本遺産に大山の「地藏信仰が育んだ日本最大の牛馬市」が認定されたことを受け、それを記念して館蔵品の史料をご覧いただく機会を提供した。	
		太平洋戦争と戦中・戦後の暮らし	7/23(土) ～ 8/28(日)	469	歴史館所蔵の戦争関係資料を展示して、太平洋戦争中の市民生活について学び、戦争の悲惨さや残酷さを知ることによって平和について考える機会を提供した。	
		大山の歴史を語る資料たちV o I . 2	6/29(日) ～ 12/25(日)	2,211	日本遺産に大山の「地藏信仰が育んだ日本最大の牛馬市」が認定されたことを受け、館蔵品の展示入替をした史料をご覧いただく機会を提供した。	
		西田税 ～二・二六事件から80年～	10/8(土) ～ 12/25(日)	892	米子市博労町で誕生し、日本の歴史の中で重要な事件のひとつとされる二・二六事件に関与した西田税の関係資料をご覧いただく機会を提供した。	
		絵図でたどる米子城の歴史	29/1/29(日) ～ 3/12(日)	610	米子城絵図、米子町絵図等の絵図資料や横田内膳や荒尾家臣の関資料などを展示し米子城の歴史を紹介した。	
		連携事業	第5回米子歴史絵巻 語る夜 ～朗読と音楽で紡ぐあやかしの世界～	10/8(土)	86	身近にある史跡の情報発信をおこない、史跡を活用した観光情報の発信に繋げる機会を提供をおこなった。
		教育普及事業	講演会・講座・ワークショップなど	とっとり県民カレッジ連携事業 講演「西伯耆と廻国塔」	5/28(土)	45
	とっとり県民カレッジ連携事業 講演「鳥取藩台場跡に見る幕末の攘夷思想と西洋化」		6/4(土)	30	鳥取藩の江戸時代の女性の姿を通して、藩政史の中に現れた鳥取の女性の歴史を紹介機会を提供した。	
	「太平洋戦争と戦中・戦後の暮らし」関連事業 歴史館・美術館ギャラリートークツアー		8/19(金)	[5]	美術館開催の「國頭肇繁次郎展」と連携して、歴史館・美術館の学芸員の解説を聞く機会を提供した。	
	とっとり県民カレッジ連携事業 講演「二・二六事件と西田税秘話」		10/15(土)	93	企画展「西田税」の関連事業。西田税の関係者を知る講師を招き、当時の歴史背景等を学ぶ機会を提供した。	
	鳥取地域史研究会・とっとり県民カレッジ連携事業 講演「鳥取藩の鉄山政策」		11/13(日)	65	鳥取藩の藩政史料から、藩の収入源の一つである「鉄」とそれを産出する鉄山の政策について学ぶ機会を提供した。	
	歴史講座 『中村記』を読む		H29 2/18(土) 3/4(土)	23	米子城初代の中村氏の事柄を伝える『中村記』を読み、その歴史を学ぶ機会を提供した。	
平成28年度「もっと知りたい！米子城」事業 春の米子城下町がつつりウォーク！	4/9(土)		59	米子城の規模や米子城下の町割りなどを、現地を訪ねて学ぶ機会を提供した。		
米子城を極める！（現地ウォーク）	10/2(日)		77	米子城の現地を歩き、米子城についての歴史を学ぶ機会を提供した。		
第43回 郷土の歴史教室 日本遺産認定記念 大山の歴史を知ろう！	7/28(木)		19	日本遺産に大山の「地藏信仰が育んだ日本最大の牛馬市」が認定されたことを受け、現地を歩いて学習しながら大山の歴史を学ぶ機会を提供した。		
民話の部屋	通年		86	地方に残る方言で語られるむかし話を楽しむ機会とした。学芸員が歴史館資料や調査資料の解説をおこなった。		
学校・公民館対応など 出前講座 体験学習受け入れ	通年		102 [1,020]	福米西小3年(98人)/会見第2小3年(4人) 出前事業 市内外の小学校3年生及び中学生を受け入れた。(21校)		
博物館実習・職場体験受け入れ	通年		5件	博物館実習(1件)・職場体験受け入れ(4件/4人)		
財団連携事業 ことも夏休み体験ツアー	8/8(月)		[19]	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。		
財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	11/5(土)	—				
教育普及活動	・資料の活用事業	調査・整理・研究・保管	通年	資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。		
	・資料の保存事業	鳥取県史編さん事業 古文書解説ボランティア月例会	通年	資料の目録作成をおこなった。		
	・資料の貸出事業	資料貸出	通年	102 鳥取県史編さん資料解説の事業支援をおこなった。 42件 資料の貸出をおこなった。(226点)		
	・情報提供事業	歴史館だよりの発行/ホームページの作成・更新 問合せ対応	通年	史・資料の紹介やイベント情報の提供などをおこなった。 米子市史などの問合わせに対応し、情報の提供をおこなった。		
	・会の運営	友の会の運営 理事会及び総会の開催	5/30(月)	22	会の運営の手助け、研修会の実施など。	
	・研修会	研修会「備前路」	6/22(木)			
・図書販売	図書等販売 紀要の発行など	通年	委託図書・図録・紀要などの販売をおこない収入の一助とした。			
合 計		28年度	11,391	[]の重複観覧者数の人数は除く		

平成29年度 米子市立山陰歴史館事業計画書（案）

1 基本方針

（1）個性あふれる利用しやすい施設づくり

建築物がもつ歴史的景観や価値の情報発信と、市民が集える場の提供を行いながら若年層にも利用してもらいやすい施設づくりを目指す。

（2）郷土の歴史・民俗資料を中心とする整理、調査研究、保管活用の充実

収集資料の体系的な整理への取り組みを行い、事業企画や情報発信に活用できる研究成果の積み重ねに努める。

（3）子どもたちに地域の歴史への興味と関心をもたせる展示や活動に努める。

2 重点施策

（1）山陰歴史館所蔵の資料整理及び調査研究、資料活用の推進

資料整理や研究に取り組み、その成果を常設・企画展示事業に反映させながら、歴史的資料の開示や情報発信に取り組むと共に、『歴史館紀要』の発行を継続して行う。

（2）歴史館を活用した参加型の協働事業の推進

ほうき民話の会・米子下町観光ガイド、企画展示事業を通じて連携する諸団体との協力・協働をとおして、活動の紹介や発表の場の提供、体験型参加事業、教育普及事業を行う。

（3）利用者サービスの向上

米子市史関連資料の問合せや館蔵資料の閲覧・貸出などに随時対応し、郷土の歴史に係る情報の提供や情報交換の場の提供を行う。

（4）財団内で連携した事業展開

当財団の各専門分野の職員間で連携し、幅広い事業展開を行う。

（5）歴史館館蔵資料並びに展示で作成したパネルなどの貸出

地域で米子の歴史にふれる機会の提供を行う。

3 主要事業

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
鑑賞事業 [常設展]	ふるさとに伝わる民俗 行事ほか	暮らしの中に息衝く民俗行事 を紹介すると共に近現代の歴史 をとおして、人々の暮らしの様 子を紹介する。 入場料無料 (4,000 人)	通年 随時展示替	
[企画展]	米子の神社 (仮称)	米子の神社所蔵の文化財や関 連資料を展示し、併せて神社の 概要を紹介する。 入場料 300 円 (800 人)	4 月 29 日 (土・祝) ~ 5 月 28 日 (日)	
	館蔵品展 I	夏をテーマにして、館蔵品の紹 介をする。 入場料 300 円 (600 人)	6 月 18 日 (日) ~8 月 27 日 (日)	
	米子市制 90 年記念 米子市のあゆみ (仮 称)	米子市制 90 年を記念して、米 子市が誕生してから現在まで の歴史を紹介する。 入場料 300 円 (1,400 人)	9 月 17 日 (日) ~11 月 26 日 (日)	
	館蔵品展 II	冬の遊びをテーマにして、館蔵 品の紹介をする。 入場料 300 円 (300 人)	12 月 17 日 (日) ~30 年 1 月 21 日 (日)	
	天神さん (仮称)	倉吉天神・米子天神を展示し、 天神信仰の歴史を紹介する。 入場料 300 円 (800 人)	30 年 2 月 18 日 (日) ~ 30 年 3 月 18 日 (日)	
[連携事業]	米子歴史絵巻	第 6 回目を迎える。歴史的遺産 を活用した事業を行う。 (内容調整中) 入場料無料 (150 人)	調整中	共催：米子市文化ホール 協力：米子市児童文化セン ター

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
[連携事業]	米子市公会堂市民交流事業	「偉大なる作曲家 高木東六の世界」を実施。ホワイトで高木東六関係資料を展示紹介する。 展示観覧無料 (500 人)	10 月 21 日 (土)	共催：米子市公会堂 米子市 米子市教育委員会
教育普及事業	講演会	企画展関連の講演会を検討中。 入場料無料 (100 人)	調整中	
	講座 続『中村記』を読む	『中村記』を読み解き、当時の米子の歴史を学ぶ。 参加費無料(20 人程度)	冬	場所:米子市旧庁舎 *鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館と連携(予定)
	第 44 回 郷土の歴史教室	子どもたちに郷土の歴史を知る機会の提供を図る。 参加料有 (30 人程度)	7 月 27 日(木)	共催：米子錦ライオンズクラブ ・米子市教育委員会
	民話のへや	民話語りと歴史館資料の紹介・解説を行う。	通年	共催:ほうき民話の会
	学校・公民館対応など	郷土の歴史への知識を深める機会を提供する。	申込随時	
	学校への出前講座	郷土の歴史への知識を深める機会を提供する。	通年	
	館内体験学習 学芸員研修受入	社会科校外学習受入など。	申込随時	
	当財団施設連携事業	財団が管理・受託する施設で、特色ある事業を体験してもらい、文化活動に対する関心を高める。	夏休み他	
[資料の保存・活用]	資料の調査・整理・研究・保管	資料の調査研究の成果を『歴史館紀要』に発表する。	通年	
	資料貸出	素鳳コレクションの貸出。学習資料などの貸出。	通年	
	古文書解読	古文書解読の学習の場の提供と解読者の育成を図る。	通年	共催：鳥取県立博物館

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
教育普及 事業 [情報提供]	問合せ対応	県内外からの問合せに対応し、 歴史情報を提供する。	随時	
	歴史館だよりの発行	歴史館の展示情報などを提供 する。	随時	
	ホームページ	展示事業の紹介・更新	随時	
	友の会の運営	会の運営の手助けを行う。	随時	共催：歴史館友の会
	図書等販売	委託図書などの販売	通年	

福市考古資料館・米子市埋蔵文化財センター

平成28年度事業実施報告

平成29年度事業実施計画案

目 次

- I 米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館の概要
 - 1 米子市埋蔵文化財センター施設概要
 - 2 米子市福市考古資料館施設概要
 - 3 管理組織
 - 4 平成28年度埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画

- II 平成28年度実施事業の概要
 - 1 展示事業
 - 2 教育普及事業
 - 3 情報発信事業
 - 4 調査研究・収蔵保管事業
 - 5 資料館・センター利用事業
 - 6 業務日誌抄録事業実績一覧

- III 平成29年度埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画(案)
 - 1 基本方針
 - 2 重点施策
 - 3 主要事業計画

I 米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館の概要

1 米子市埋蔵文化財センター施設概要

- (1) 名 称 「米子市埋蔵文化財センター」
- (2) 設置目的 埋蔵文化財保護と活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深め、市民の文化的向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市281番地
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造3階建（旧日新小学校改装） 延床面積2,720㎡
展示室1室・資料閲覧室1室・書庫1室・木器保存処理室1室・写場1室・調査研究室1室・資料整理室2室・土器洗浄室1室・木器收藏室2室・体験学習室1室・研修室1室・調査資料保管室1室・特別收藏室1室・出土品收藏室10室
- (5) 設置年月日 平成22年4月15日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 月曜日～金曜日
開館時間 午前9時～午後5時
閉館日 土、日、祝日及び年末年始の休日



竪穴建物ジオラマの設置



弥生時代木製品の展示

2 米子市福市考古資料館施設概要

- (1) 名 称 「米子市福市考古資料館」
- (2) 設置目的 郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市461番地-20
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造1階建
延床面積150㎡
展示室1室・研修室1室・事務室1室
外倉庫1室
- (5) 設置年月日 昭和55年10月6日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 水曜日～月曜日
開館時間 午前9時30分～午後5時
閉館日 火、祝日の翌日及び年末年始の休日



福市遺跡の遺構と雪景色

3 管理組織

(1) 指定管理者 一般財団法人米子市文化財団

(2) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター

館長 1 名 学芸員 1 名 (補助として一財・米子市文化財団の埋蔵文化財調査室職員 1 名、事務員 1 名が兼務)

米子市福市考古資料館

館長 1 名 (兼務) 学芸員 1 名 (兼務) 受付管理員 2 名

在職者名簿

米子市埋蔵文化財センター		米子市福市考古資料館	
館長	小原貴樹 (非常勤)	館長	小原貴樹 (非常勤)
学芸員	佐伯純也 (調査室兼務)	学芸員	平木裕子 (調査室兼務)
学芸補助	平木裕子 (調査室兼務)	受付・管理	木下 和則 (臨時職員)
事務補助	田中昌子 (調査室兼務非常勤)	受付・管理	門脇 威 (臨時職員)

4 平成 28 年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画

(1) 基本方針

- ①埋蔵文化財センターと福市考古資料館の基本機能の充実と良好な管理を図る。
- ②原始・古代への関心を高める為の福市考古資料館の管理の充実を図る。
- ③史跡環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理の充実を図る。
- ④情報発信とネットワーク化の推進を図る。

(2) 重点施策

①原始・古代史を学ぶ機会の提供

ア 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を企画・開催し原始・古代への関心を高める。

イ 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代への興味と関心を高める。

ウ 市内の遺跡のガイドウォークの実施によって郷土歴史への興味と関心を高める。

エ 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

②埋蔵文化財資料の整理・保管研究

ア 米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

イ 未整理資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行する。

③情報の発信

発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代の最新情報を発信する。

④連携事業の促進

当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

(3) 平成 28 年度主要自主事業計画

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の遺跡から出土した考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	企画展示「大山山麓の狩人たち」 (福市考古資料館)	旧石器時代から縄文時代の米子の姿を調査資料で展示する。	年 1 回 10～11 月
	常設展示「米子の遺跡と発掘」 (埋蔵文化財センター)	遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査への理解を深める。	通年
	出前企画展示 仮「鉄と淀江の豪族たち」	白鳳の丘展示館で出前展示開催。	年 1 回 8 月
教 育 普 及	現地ウォーク「南部町の古墳」	南部町の古墳ガイドウォークを行う。	年 1 回 5 月
	現地ウォーク「江府町町歩き」	江府町の史跡ガイドウォークを行う。	年 1 回 11 月
	考古学講座講演会 1 「旧石器時代の鳥取県」	高橋章司氏を迎えて講演会を行う。	年 1 回 10 月
	考古学講座講演会 2 「縄文時代の山陰地方」	幡中光輔氏を迎えて講演会を行う。	年 1 回 11 月
	考古学教室「親子で作る勾玉」 ほか 2 教室	勾玉、拓本。土器観察を学習をする。	年 3 回
	発掘調査見学ツアー	発掘調査中の遺跡を調査員の解説で見学する。	年 1 回
	勾玉・石包丁・土笛づくり	希望する団体や来館者の体験学習	随時
	出前講座・学習受入	学校、公民館への遺跡解説と体験学習	随時
	出土品貸出・利用提供	収蔵資料の貸出・閲覧	随時
調 査	資料の調査・研究、整理・点検	収蔵資料、寄贈資料の調査研究・整理	通年
情 報 発 信	「埋蔵文化財センターたより」	調査情報、収蔵品、行事等の情報提供	年 4 回
	施設情報の提供	ネットでの施設情報などの提供	通年
	財団施設連携事業	財団管理施設の見学と体験学習	年 1 回
連 携	山陰歴史館連携事業	山陰歴史館との連携企画	年 1 回
	伯耆古代の丘連携事業	伯耆古代の丘との連携	年 1 回

II 平成 28 年度実施事業実績の概要

1 展示事業

- (1) 埋蔵文化財センター常設展「米子の遺跡と発掘」
期 間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 2 月末
担当者 佐伯純也 観覧者 (320 人)
- (2) 福市考古資料館常設展示「米子の原始・古代」
期 間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 2 月末
担当者 平木裕子 観覧者 (2,192 人)
- (3) 福市考古資料館特別展示「大山山麓の狩人たち」
期 間 平成 28 年 10 月 5 日～11 月 28 日
担当者 佐伯純也 観覧者 (209 人)
- (4) 三館連携企画展「山陰の考古学のあけぼの」
期 間 平成 28 年 2 月 18 日～11 月 28 日
場 所 上淀白鳳の丘展示館 観覧者 (2 月 62 人)
担当者 福市資料館 小原 歴史館 笹尾
上淀白鳳の丘展示館 井上



福市考古資料館特別企画展



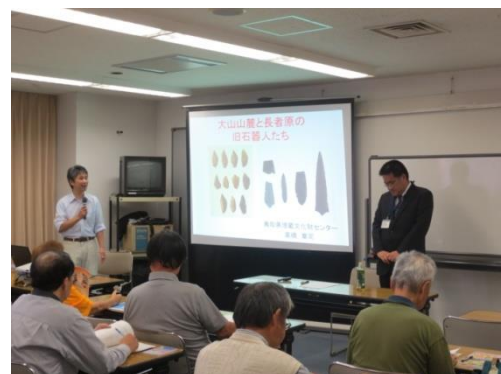
遺跡ガイドウォーク

2 教育普及事業

- (1) 遺跡ガイドウォーク
「鳥取県内最大級の前方後円墳を歩く」
実施日 5 月 15 日 (日) 参加者 (22 人)
場 所 南部町 講 師 佐伯純也
- (2) 史跡ガイドウォーク「江府町の史跡を巡る」
実施日 10 月 16 日 (日) 参加者 (21 人)
場 所 江府町 講 師 平木裕子
- (3) 考古学講演会 1
テーマ 「大山山麓と長者原の旧石器人たち」
場 所 米子市文化ホール研修室
実施日 10 月 9 日 (日) 参加者 (54 人)
講 師 鳥取県埋蔵文化財センター 高橋章司
- (4) 考古学講演会 2
テーマ「山陰の縄文一万年物語」
場 所 米子市文化ホール展示室
実施日 11 月 13 日 (日) 参加者 (41 人)
講 師 出雲市文化財課 幡中光輔
- (5) 考古学教室
①内 容 「親子で作る勾玉」
場 所 埋蔵文化財センター



史跡ガイドウォーク風景



考古学講演会 1

実施日 8月21日(日) 参加者(6人)

講師 平木裕子

②内容 「親子で取る拓本」

場所 埋蔵文化財センター研修室

実施日 10月4日(日) 参加者(0人)

講師 佐伯純也

③内容 「縄文土器紋様を観る」

場所 埋蔵文化財センター研修室

実施日 11月23日(水) 参加者(7人)

講師 佐伯純也

(6) 発掘調査見学会

日南町新屋小タイ田遺跡・川添遺跡

場所 日南町新屋

実施日 12月4日(日) 参加者(30人)

講師 平木裕子

(7) 出前講座・ガイド「古代体験学習」

①米子市なかよし学級へ出前

(米子市教育委員会・山陰歴史館共催)

勾玉づくり・火起こし・弓矢体験

7月27日(水) 啓成なかよし学級 26人

7月28日(木) 彦名なかよし学級 33人

8月1日(月) 福米西なかよし学級 31人

8月2日(火) 福生東なかよし学級 48人

8月3日(水) 加茂なかよし学級 33人

福生西なかよし学級 33人

8月4日(木) 車尾なかよし学級 38人

8月5日(金) 義方なかよし学級 35人

8月8日(月) 河崎なかよし学級 25人

8月9日(火) 尚徳なかよし学級 17人

8月10日(水) 崎津なかよし学級 36人

8月16日(火) 和田なかよし学級 35人

8月17日(水) 五千石なかよし学級 20人

8月18日(木) 成実なかよし学級 15人

8月19日(金) 箕蚊屋なかよし学級 31人



考古学講演会 2



考古学教室学習風景



淀江なかよし学級 36人

就将なかよし学級 29人

大篠津なかよし学級 16人

伯仙なかよし学級 15人

弓ヶ浜なかよし学級 22人

合計 21学級 606人

担当 (米子市教委) 下高瑞哉 中原康介 濱野浩美 高橋浩樹

(埋文センター) 佐伯純也 青砥千秋 田中昌子 石田直美 林原明美

(福市資料館) 門脇威 木下和則 (山陰歴史館) 笹尾千恵子 山本恭子

- ② 出前ガイド講師 安来市役所退職者会
場 所 米子城跡
実施日 4月20日(水) 参加者 (25人)
講 師 佐伯純也



出前ガイド米子城跡

- ③ 出前ガイド講師 松江国引き学園
場 所 尾高城跡
実施日 6月24日(金) 参加者 (22)人
講 師 佐伯純也

- ④ 出前ガイド講師 二部公民館歴史クラブ
場 所 尾高城跡
実施日 11月4日(金) 参加者 (7人)

- ⑤ 出前講座 福生西公民館ふれあい講座
場 所 福生西公民館
実施日 11月11日(金) 参加者 (50人)

- ⑥ 出前講座 永江自治連合会の青木遺跡学習
場 所 永江公民館
実施日 12月22日(日) 参加者 (42人)



米子市公会堂エルモール七夕夏祭り

- (8) 財団施設連携事業
①内 容 こども夏休み体験ツアー(施設見学体験)
場 所 福市考古資料館
実施日 7月25日(月) 参加者 (20人)

- ②内 容 米子市公会堂エルモール七夕夏祭り
(展示コーナー、勾玉づくり)
場 所 米子市公会堂ホワイエ、前庭
実施日 7月30日(土) 参加者 (147人)

- ③内 容 「米子市文化財団フェスティバル」
場 所 米子市美術館横 創作・交流広場
実施日 11月5日(土) 参加者 (805人)



米子市文化財団フェスティバル

- (9) 共催事業
①「春の米子城下がつつりウォーク」
場 所 米子の城下町 米子市教育委員共催
実施日 4月9日(土) 参加者 (50人)
② 米子城フォーラム「米子城わくわく講座」
場 所 ふれあいの里 米子市教育委員共催
実施日 10月1日(土) 参加者 (300人)
③城下町科研・米子研究集会
場 所 ふれあいの里 米子市教育委員共催
実施日 11月19日(土) 参加者 (210人)



米子城下がつつりウォーク

3 情報発信事業

(1) 埋蔵文化財センターたよりの発刊

発掘調査の情報、遺跡紹介など年4回の発行を行った。(第21号～24号)

(2) 埋蔵文化財センター・福市考古資料館ホームページ

施設情報や行事情報、米子市とその周辺の遺跡紹介をインターネットホームページに掲載し情報発信した。

4 調査研究・整理・収蔵保管事業

(1) 調査研究

歴史館旧蔵資料、米子城資料について調査を実施した。

(2) 整理作業

①遺物の整理及び収納保管

寄贈資料や過去の調査資料などの遺物を整理し収納した。(日南三吉密ケ塚遺跡など)

② 写真記録のデジタル化

発掘調査写真類のデジタル化を行った。

③ 図書整理保管

寄贈報告書・図書について整理し保管した。



5 資料館・センター利用事業

(1) 施設視察見学

米子市教育委員の埋文センター、福市考古資料館の視察や、妻木晩田ボランティア会の施設見学があった。

(2) 施設利用

①学校連携

尚徳小学校3年生の古代学習を受入れ、また福市で体験学習を実施した。

実施日 6月 2日(木) 児童ほか(31人)

6月16日(木) 児童ほか(31人)

担当者 佐伯純也 平木裕子 門脇威

②地域連携

ア パジャ学童保育の小学生「勾玉づくり」

実施日 8月3日(水) 参加者(16人)

担当者 佐伯純也・平木裕子

③研究会・講座利用

研修室が研究会会場や講座会場として利用された。(山陰中近世瓦研究会ほか)

③職場体験

米子南商業高校2名、埋蔵文化財職場のインターンシップで受け入れた。



尚徳小学校3年生の古代学習



米子南高生のインターンシップ

(3) 資料利用 (別紙一覧表)

- ①収蔵品の貸出利用
- ②収蔵品実測・熟覧等の研究利用件数
- ③写真等資料の貸出利用件数
- ④図書の閲覧・貸出利用件数



鳥取大学李准教授の鉄器調査

6 業務日誌抄録(平成28年度のあゆみ)

- | | | | |
|-------|----------------------------------|--------|---------------------------------|
| 4月14日 | 米子東高校、米子西高校が福市公園へ遠足で来園した。 | 9月16日 | 木更津市郷土博物館学芸員が上福万出土の土器借用で来館された。 |
| 4月12日 | 出雲市の花谷氏が上淀廃寺の瓦調査。 | 9月21日 | 岡山大学生が上福万出土の土器調査で来館された。 |
| 4月21日 | 鳥取県文化財課中森主幹が上淀廃寺の壁画調査で来館された。 | 9月28日 | 樞原考古学研究所研究員が百塚第1遺跡の炭化米借用で来館された。 |
| 5月12日 | 米子市教育委員が施設視察で来館。 | 9月30日 | 万葉歴史館の学芸員が上淀廃寺壁画の借用で来館された。 |
| 5月14日 | 古代炊飯法3D調査で北陸学院大小林教授が来館された。 | 10月6日 | 出雲市の花谷氏が上淀廃寺の瓦資料調査で来館された。 |
| 5月17日 | 鳥取大学李准教授ほか学生4名が鉄器調査で来館された。 | 10月25日 | 出雲市弥生森博物館花谷氏が上淀廃寺瓦資料借用で来館された。 |
| 6月6日 | 上淀白鳳の丘展示館から、壁画復元原画を特別収蔵庫へ移転搬入した。 | 11月11日 | 広島大学生真木氏が土器紋様調査で来館された。 |
| 6月8日 | 木更津市郷土博物館井上学芸員が縄文早期土器調査で来館された。 | 11月14日 | 木更津市宮代氏が馬具調査で来館。 |
| 6月29日 | 米子南高校生3名をインターンシップで受け入れた。 | 12月22日 | 妻木晩田史跡公園文化財主事が洞ノ原地区資料調査で来館された。 |
| 7月7日 | 鳥取県教育文化財団小山氏が百塚第1遺跡の玉類調査で来館された。 | 1月22日 | 永江自治連合会の青木遺跡勉強会へ出前講師を派遣した。 |
| 7月16日 | 山陰中近世瓦研究会が研修室開催。 | 1月28日 | 出雲市弥生の森博物館花谷氏他が米子城瓦調査で来館された。 |
| 8月22日 | むきばんだ遺跡ボランティア団体が施設研修で来館された。 | 2月10日 | 山陰中世土器検討会が研修室で開催。 |
| 8月5日 | 山口県文化財課岩井氏が出土鉄器等の資料調査で来館された。 | 2月23日 | 日本大学山本教授が獅嚙文帯金具の調査で来館された。 |
| 8月12日 | 万葉歴史館の田畝学芸員が上淀廃寺の壁画調査で来館。 | 2月25日 | 山陰中近世瓦研究会が整理室で開催された。 |
| 9月5日 | 京都大学院生が石州府29号墳出土鉄器の資料調査で来館された。 | | |
| 9月7日 | 奈良大学生が上淀廃寺の瓦資料調査で来館された。 | | |

平成28年度米子市福市考古資料館・埋蔵文化財センター事業実績一覧

2017年2月28日 現在

事業名	日時	人数	件	内 容
福市考古資料館常設展	通年	2,192	1	米子の原始古代遺跡・遺物の展示
福市考古資料館特別展	10/5～11/28	209	1	「大山山麓の狩人たち」
埋蔵文化財センター常設展	通年	320	1	「米子の遺跡と発掘」
三館連携企画展	2/18～3/20	62	1	「山陰の考古学のあけぼの」
遺跡ガイドウォーク	5/15	22	1	鳥取県内最大級の前方後円墳を歩く
史跡ガイドウォーク	10/16	21	1	江府町の史跡を巡った。
考古学講演会①・②	11/9 ほか	95	2	専門研究者を招聘して開催した。
考古学教室①・②・③	8/21 ほか	13	3	「親子で作る勾玉」ほか
出前講座(なかよし学級)	7/27 ほか	606	21	啓成なかよし学級ほか
出前講座(講演会講師)	12/22 ほか	92	2	永江自治連合会遺跡学習ほか
発掘調査見学会	12/4	30	1	新屋小タイ田遺跡・川添遺跡
米子城関係共催事業	4/9 ほか	560	3	米子城フォーラムほか
学校・地域連携古代学習	6/2 ほか	78	3	尚徳小3年生、パジャ学童保育
文化財団施設連携事業	7/23・27	972	2	財団フェスティバルほか
研究会利用など	7/16 ほか	50	7	山陰中世土器検討会ほか
職場体験	6/17 ほか	9	1	高校生インターンシップ
学習利用	6/26 ほか	381	2	五千石小ほか
収蔵品貸出利用	4/20 ほか	11	11	古代出雲歴博、木更津市ほか
収蔵品実見等研究利用	4/12 ほか	36	23	学生卒論、博物館、研究会ほか
写真資料等貸出利用	5/30 ほか	3	3	石州府古墳群写真データほか
図書閲覧・貸出	6/24 ほか	2	2	8冊
センターたよりの発刊	6/30 ほか	—	4	第21号～24号
刊行物	3/31	—	2	年報、大昔物語古代・中世ほか
計		5,764 含共催		

平成 29 年度 米子市福市考古資料館及び埋蔵文化財センター事業計画(案)

1 基本方針

- (1) 福市考古資料館及び埋蔵文化財センターの基本的機能の充実を図る。
- (2) 原始・古代への関心を高めるための福市資料館の適切な管理に努める。
- (3) 史跡環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。
- (4) 情報発信とネットワーク化の推進を図る。

2 重点施策

- (1) 原始・古代を学ぶ機会の提供
 - ① 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を開催し、原始・古代への関心を高める。
 - ② 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代への興味・関心を高める。
 - ③ 市内外の史跡のガイドウォークの実施によって、身近な郷土の歴史への興味・関心を高める。
 - ④ 体験教室・出前講座を通して、「見て・触れて・作って」原始・古代への興味・関心を高める。
- (2) 埋蔵文化財資料の整理・保管・調査研究
 - ① 米子市が所蔵する考古資料や記録類の適切な保管・整理を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるよう調査・研究に努める。
 - ② 未報告資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行する。
- (3) 情報の発信
 - ① 最新の発掘調査や研究の成果を踏まえ、米子市等の原始・古代史の情報を発信する。
 - ② 遺跡の情報をわかりやすいシートやリーフレットにして配布する。
- (4) 連携事業の促進
 - ① より多くの人に関心を持ってもらうために、当財団の各施設を始め、他の歴史関係施設との連携事業を展開する。
 - ② 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園との連携を深める。
 - ③ 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟して、県内施設との連携を深める。

3 主要事業計画

区分	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	福市・青木遺跡などの米子市内の遺跡から出土した代表的な考古資料や写真パネルを年代別に展示し、小学生から一般市民まで幅広く原始・古代の米子の歴史を学習する機会を提供する。	通年・年2回、 展示替えを行う
	企画展示 「弥生時代の米子」 (福市考古資料館)	米子市内の弥生時代遺跡をパネルで紹介するとともに、遺跡から出土した土器や石器類を展示して、弥生時代の歴史を振り返る。	年1回 (10・11月)
	常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	米子市内の遺跡から発掘された出土品の展示と、発掘調査の方法を通して、米子の原始・古代の歴史や文化財保護への理解を深める展示を行う。	通年
教 育 普 及	現地ウォーク1 「福市・青木遺跡を歩く」 (埋蔵文化財センター)	埋蔵文化財センターの所在する福市・青木遺跡を巡り、福市考古資料館の見学・解説を行う。	年1回(春) 4月30日
	現地ウォーク2 「伯耆町内の遺跡を歩く」 (埋蔵文化財センター)	伯耆町の大寺廃寺から長者屋敷遺跡までを歩いて巡る。	年1回(秋) 11月25日
	考古学講演会1 「農耕社会のはじまり」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの君嶋氏を迎えて講演会を行う。	年1回 9月30日
	考古学講演会2 「弥生時代の家」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの馬路氏を迎えて講演会を行う。	年1回 10月28日
	考古学講演会3 「弥生時代のお墓」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの長尾氏を迎えて講演会を行う。	年1回 11月25日

	考古学教室 1 「勾玉づくり」 (福市考古資料館)	小学生を対象とした考古学教室。今回は夏休み期間中に開催する。	年 1 回
	考古学教室 2 「火起こし」 (福市考古資料館)	小学生を対象とした考古学教室。今回は夏休み期間中に開催する。	年 1 回
	勾玉・石包丁・土笛作り体験 (福市考古資料館)	勾玉作り等を希望する来館者に体験してもらう。	随時
	出前講座	学芸員が講師の派遣を希望する学校・公民館などへ出向き、実物の土器や石器などを持参して、米子の歴史や埋蔵文化財についての解説を行う。対象は小学校低学年から高齢者まで、幅広い年齢層に対応することが出来る。	随時
調査研究	資料の調査・研究・保管・管理・貸出	埋蔵文化財センターに収蔵されている過去の発掘調査で出土した考古資料や、寄贈された資料の調査・研究・保管・管理・貸出・資料見学者への対応業務を行う。	随時
情報発信	「米子市埋蔵文化財センターたより」などの発刊	発掘調査の情報、貴重な収蔵品の紹介やセンター・資料館行事などの情報提供を行う。	年 4 回
	施設情報の提供	ホームページなどを活用した施設情報の提供	随時
連携事業	施設連携事業	財団施設や歴史系施設などで、特色ある事業体験や、連携企画を行い文化財や文化への関心を高める。	随時

米子市福市考古資料館・埋蔵文化財センター平成28年度事業報告
米子市歴史館運営委員会資料 2017年2月28日
発行 米子市埋蔵文化財センター指定管理者 一般財団法人米子市文化財団
〒683-0011 鳥取県米子市福市281番地 埋蔵文化財調査室
☎・fax 0859-26-0455 Eメール yonagomaibun@clear.ocn.ne.jp

平成 28 年度 上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業報告書

1 組織体制

館長（非常勤）	1 人	
副館長（常勤）	1 人	
学芸員兼企画員（常勤）	1 人	
スタッフ（非常勤）	2 人	合計 5人

2 事業の実施状況

(1) 入館者数

区分	一般	高・大学生	中学生以下	合計
人数	3,052 人	93 人	139 人	3,284 人

(平成 29 年 2 月 28 日現在)

(2) 主な事業概要

区分	事業名	実施状況	備考
自主事業	上淀白鳳の丘展示館企画展	<p>上淀白鳳の丘展示館の多目的室において、次の企画展を実施した。</p> <p>①上淀廃寺復元壁画の原画展 平成 28 年 4 月 29 日から 5 月 8 日まで（10 日間） （入館者数：172 人）</p> <p>②上淀廃寺出土壁画写真パネル展 平成 28 年 8 月 6 日から同月 28 日まで（22 日間） （入館者数：256 人）</p> <p>③よどえのクチナワさん展 平成 28 年 9 月 1 日から 11 月 6 日まで（67 日間） （入館者数：987 人）</p>	<p>別添チラシ ①参照</p> <p>別添チラシ ②参照</p>
	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	<p>上淀廃寺への関心と理解を深めるとともに、史蹟の保全と景観形成、上淀エリアの魅力アップ等を目的に今年度も彼岸花の里づくり事業を実施した。</p> <p>【主な事業】</p> <p>①彼岸花の採取・植栽事業 ・実施期間 平成 28 年 4 月から 6 月（3 回） ・実績 植栽球根数 約 5,000 個 植栽面積約 450 m² 植栽等ボランティア 約 90 人</p> <p>②彼岸花まつり ・実施日 平成 28 年 9 月 18・19 日 ・実施場所 国史跡上淀廃寺跡 ・事業内容 休憩所の設置、コンサート、ウォーク、フォト教室、流しそうめん、ヨガ教室等 ※両日とも悪天候のため、コンサート、そうめん流し、ヨガ教室は会場変更 （当日参加者=約 150 人）</p> <p>③彼岸花の里俳句大会 ・期間 9 月 19 日～同月 30 日</p>	<p>別添チラシ ③参照</p> <p>別添チラシ ④参照</p>

自 主 事 業	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・応募句 80句 (36人) ④彼岸花のある風景フォトコンクール ・期 間 9月1日～10月20日 ・応募作品数 88作品 (30人) ⑤フォトコンクール応募作品・俳句大会投句巡回展 ・上淀白鳳の丘展示館 (11月11日～11月17日)、淀江文化センター (11月19日～11月29日)、米子市立図書館 (1月7日～22日) で開催した。 	
	啓発・情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ①米子市立図書館の市民ギャラリーや淀江文化センターのロビーで種々の展示イベントを開催し、展示館以外の施設を利用した情報発信を行った。 ②鳥取県広報誌8月号の中で「古代へいざなう魅惑の赤」というタイトルの上淀廃寺と彼岸花に関する特集記事が掲載された。 ③市政記者室に情報提供し、彼岸花植栽事業や彼岸花まつり等のイベント情報がマスコミによって度々紹介された。 ④淀江公民館の歴史教室で「よどえのクチナワ」さんについての出前講座を行った。 ⑤展示館や周辺史跡の利活用の増進を図るため、上淀白鳳の丘展示館及び周辺史跡を紹介する資料を作成し、本年2月に市内の公民館に配布をした。 	
	館内及び周辺史跡ガイド事業	<ul style="list-style-type: none"> ①団体・個人を問わず、入館者に対する館内ガイドを積極的に行い、展示館の魅力とPRに努めた。 ②入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、周辺史跡 (向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡) ガイドを、通年をとおして積極的に実施した。 <p style="text-align: center;">(周辺史跡ガイド：78回 752人)</p>	
連 携 事 業	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	<p>鳥取県立むきばんだ史跡公園や米子市教育委員会等を構成メンバーとするプロジェクト実行委員会の中で、地域の連携の強化とこのエリアの魅力アップのために、次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①トークプレイス (3月5日開催) <li style="padding-left: 20px;">壁画出土25年記念イベントとして「上淀廃寺壁画再考！」をテーマにしたトークプレイスをむきばんだ史跡公園のやよいの館むきばんだで開催しました (参加者：約50人) ②「よどえまるごと道草日和」の中で、国の選択無形文化財「上淀八朔綱引き」現地見学ツアーを実施した。 (参加者：約50人) 	別添チラシ ⑤参照

連 携 事 業	三館連携事業	山陰の考古学のあけぼの展 平成 29 年 2 月 18 日から 3 月 20 日まで (30 日間) (2 月末現在入館者数 : 62 人)	別添チラシ ⑥参照
	伯耆古代の丘公園・どんぐり館連携事業	①伯耆古代の丘公園と連携して、夏休み期間中 (7 月 31 日) に、子供たちを対象にした「盾持人はにわづくり」を開催した。 ②白鳳の里どんぐり館と連携して、本年 3 月に「よどえサイのノガミサン巡り」を開催します。	
	その他の連携事業	①昨年 11 月に米子市淀江文化センターのロビーで「縁かみよど宴喜」に連携した『上淀廃寺復元壁画の原画展)』・『フォトコンクール応募作品・俳句大会投句巡回展』を開催した。 ②米子・日吉津商工会の「地域貢献アピールプラン事業 やつぼかめ山茶摘み・緑茶づくり」イベントや「よどえまるごと道草日和」イベントの中アで、つぼかめ山の歴史や魅力を紹介した。 ③「むきばんだ日和 (4~5 月)」、「よどえサイクリングカーニバル (9 月)」、「むきばんだ祭り (9 月)」などこのエリアで開催されたイベントと連携して展示館への入館サービスや P R を実施した。	

平成29年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業計画

1 組織体制

館長（非常勤）	1	人	
副館長（常勤）	1	人	
学芸員兼企画員（常勤）	1	人	
スタッフ（非常勤）	2	人	合計 5人

2 事業計画

(1) 基本方針

国史跡上淀廃寺跡のガイダンス施設としての機能を充実させるとともに、貴重な史跡が集積しているこのエリアのグレードを高めることを基本方針とします。そのために、関係団体と連携して上淀白鳳の丘展示館及びその周辺エリアへの誘客活動と情報発信をこれまで以上に積極的に推進します。

(2) 主な事業

区分	事業名	目的・内容	実施時期
自主事業	上淀白鳳の丘展示館企画展	古代史の宝庫としてのこのエリの魅力を高めるために、展示館の多目的室において、このエリアに存する歴史遺産（史跡、出土品、民俗等）をテーマにした企画展を開催します。また、昨年に引き続き、ゴールデンウィークの期間中に『復元壁画の原画展』を開催します。	4月 8月 1月予定
	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	このエリアの魅力アップと来訪者の増加を狙いとしてスタートした彼岸花の里づくりプロジェクト事業は、マスコミをはじめ多くの人々の注目を集め、その効果が期待されています。平成29年度においても、これまでの経験と実績を活かし、行政機関、関係諸団体等と連携を図りながら彼岸花の植栽事業と彼岸花まつりを中心にして彼岸花の里づくり事業を推進します。	4～10月
	啓発・情報発信事業	○上淀廃寺を中心とする淀江エリアの理解と関心を高めるため、積極的な出前講座の実施や公民館や小・中学校における校外学習の利用促進を図ります。 ○広報活動の充実と効率化を図るために指定管理の2施設（淀江ゆめ温泉、古代の丘公園）とどんぐり館で、共同のホームページ、ポスター、チラシなどを作成します。 ○米子市立図書館の市民ギャラリー等の展示館以外の施設を利用した広報活動の充実に努めます。	随時 随時
	館内・周辺史跡ガイド等事業	展示館の館内ガイドにとどまらず、このエリアの魅力を多くの来訪者に知っていただくために向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡等の周辺史跡等のガイドを実施します。 また、妻木晩田ボランティアガイドの会と連携して史蹟ガイドの養成に取り組みます。	随時

連 携 事 業	とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	隣接する国史跡妻木・晩田遺跡との相乗効果を高め、このエリアの魅力アップにつなげるために、むきばんだ史跡公園（県）と連携して「とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト事業」に積極的に参加し、その中でトークプレイスやよどえまるごと道草日和等企画・実施するとともに、各種イベントの際には相互に協力し合い、展示館のPRや誘客活動に努めます。	9～11月頃
	地域内連携事業	米子日吉津商工会等の地域内の団体と連携を図り、サイクリングカーニバル、夏休みこども体験ウォーク、美水の郷秋麗ウォーク等のイベントに協力しながら、展示館、国史跡上淀廃寺跡などの活用と利用促進を図ります。	随時
	温泉・公園・展示館・どんぐり館共同事業	伯耆古代の丘公園、ゆめ温泉及びどんぐり館で開催されるイベントに積極的に参画し、白鳳の里エリアの賑わいの創出や来訪者の増加に努めます。	随時